

いつか花咲く日のために

平成23年9月21日
広島市立中島小学校
校長だより 第5号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え
あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待たないと、
この題をつけました。



「続けじょうず1年生」が 「書きじょうず2年生」に

入学以来大きな声であいさつし続ける子どもたちを「続けじょうず」と褒めた1年前の「校長だより」。この4月、2年生になった「続けじょうず」の65名は、「書きじょうず」にもなっています。

「書きじょうず」を実感するのは、毎月、学校朝会後に私に提出する「要点聞き取りメモ」を見る時です。書き込む内容はわずかなものですが、決められた枠の中に子ども一人一人が心を込めて自分の名前を記入し、丁寧に要点を書いています。私も、いつも以上に心を込め丁寧に丸付けをします。メモ用紙には、「花丸」という赤いかわいい花があちらこちらに咲きます。

人が読むものを丁寧に書くことは、読み手への心遣いであり、書き手の人柄に繋がります。形の良し悪しではなく、一生懸命に書いてある字は、それだけで気持ちの良いものです。

2年生がいつまでも「書き・続けじょうず」であることを願いつつ、私自身も2年生に負けない丁寧な「花丸」を咲かせ続けたいと思います。

「読んでみますか、子育て本」

9月7日に開催されたPTA運営委員会の席上で、「アン18歳」「リュウの思春期ルポ」という2冊の子育て漫画本を紹介しました。芸名で一言感想(『読みました』の一言でよいのですが、日頃の思いを書いてくださる方もあります。でも、一言で良いのです。)を書くのがお約束です。思った以上に高評なので、皆さんにも紹介することにしました。希望される方はお子さんを通じてご連絡ください。希望が多いので、少しお待たせするようになりますが。

なかじまっ子の感性から生まれる「なかじま 五七五」

10月1日 運動会に向けて、子どもも先生も懸命に取り組んでいます。
今年度の運動会テーマは「☆中島魂今こそ発揮☆」。東日本の復興への思い
を込めて、全児童が考え選んだものです。

「なかじま 五七五」にも、運動会に向けての句が入っています。

一人じゃできない運動会。

がんばろう 運動会は みんなでね 富田 紗矢
うんどう会 まちどおしな たのしみだ 竹本 沙代

スポーツに燃える秋。

秋になる 全国せいは やってやる 木村 壮芳

9月半ばにやっと感じることのできた秋の気配。

あきがきた すずしいあきは たのしいよ 縫部 黄々
友達と読書の秋を楽しもう。

きょうはね ぜんいんでいく としよにね 占部 貴輝
傷は痛むけれど心は温かい。

うれしいな けがしたときの ひとことが 竹本 善一

「久しぶりの登校に、周りの子どもからの声かけは・・・」と五七五。

「治ったの？」 気づかう子等に 涙する 詠み人知らず

9月14日から16日まで、保健室で研修した教育実習生の一句。

中島小 すべての出会いに ありがとう 山本 仁美

では、ここで、先生たちの「今時五七五」をお楽しみください。

本校卒業生 後藤教諭はこの夏40年ぶりのクラス会に出席し・・・。

四十年経て とどめおかまじ 中島魂 後藤美智恵

学級ごとの赤・白が、今年は、学級の中で分かれてチャレンジ。

天高く 赤白ぼうし 駆けぬける 長谷川規子

今年からは、低・中・高学年で取り組む表現。

組体操 100人の ドラマだけ 川端 勇樹

通学路変更に伴い、安全確保のため、立ち位置を工夫してくださるガードボ
ランティアの方々に深く感謝。

子等 守る 地域の方の 心意気 久松ひとみ